

平成25年度

湯沢砂防だより

No.23

平成25年9月2日

国土交通省 湯沢砂防事務所

キャンプ砂防in山古志2013 報告

★キャンプ砂防とは。。。砂防について大学等で学ぶ学生が、砂防の意義と中山間地域及びそこに生活する人々に対して果たす砂防の役割を、地元の人々との共同作業や生活を通じて体験的に学ぶことにより、砂防に対する認識を深め、今後の土砂災害防止の推進に役立てることを目的として実施しています。

北海道、石川県、東京都、三重県、広島県の大学・大学院から5名が参加し、8月19日(月)～23日(金)の5日間の日程でキャンプ砂防を行いました。

期間前半は地元の方々との共同作業や生活を通じた体験、後半では被災箇所及び砂防工事現場等の現場学習を実施し、無事5日間の日程を終了しました。

【1日目】～見学:長岡震災アーカイブセンター、開講式～

新潟県中越大震災の被災状況の記録等を見てもらい、震災の怖さや防災について考えてもらいました。

長岡震災アーカイブセンター きおくみらい 見学



長岡市山古志支所 開校式



★キャンプ生1人ずつ自己紹介をしました。

【2日目】～講話・地域学習:長岡市山古志、

体験:養鯉、闘牛・肥育牛飼育～

地域産業の体験学習を通じて、防災事業、地域の復旧・復興のありかたについて考えてもらいました。

長岡市山古志支所 講話



地震被災から復興への歩みについて学びました。

体験学習（養鯉体験）



錦鯉の選別をしました

体験学習（闘牛・肥育牛飼育体験）



牛のえさやりの様子

NSTの取材を受けました



【3日目】～災害現場:長岡市乙吉町・森上地内～ 砂防工事現場・中越地震河道閉塞箇所～

平成25年7月に土砂災害が発生した長岡市の災害現場や砂防工事現場を実際に見てもらうことで砂防事業のありかたについて考えてもらいました。

長岡市乙吉町

長岡市乙吉町では新潟日報の取材を受けました



長岡市森上



工事現場にて



避難訓練の様子



←FM長岡の取材を受けました



災害現場や工事現場での現場学習ではキャンパス生から質問が出るなど、積極的に取り組まれました。

【4日目】～災害現場:魚沼市大白川～ 現地調査:守門岳～

平成25年5月に発生した魚沼市大白川の地すべりの被害状況を見てもらい、守門岳では衛星電話、レーザー距離測定器を体験していただきました。



魚沼市大白川



守門岳現地調査



レーザー距離測定器体験中



衛星電話がつながりました！

【5日目】～課題取りまとめ・発表、閉講式～

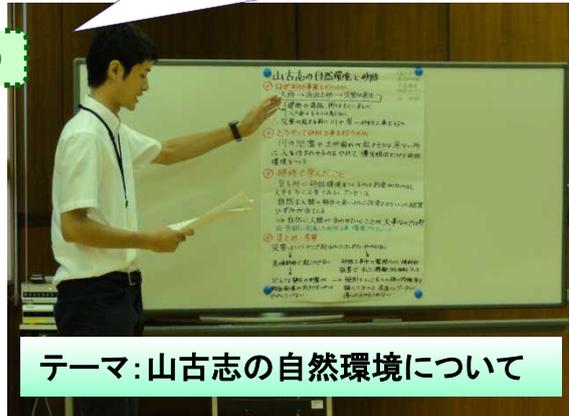
発表テーマについては、参加志望理由等を基に自由に設定してもらい、5日間の期間中に自分の考えをまとめて、発表していただきました。

課題取りまとめ



発表①

自然に人間が合わせていくことが大事なんじゃないか。



テーマ:山古志の自然環境について

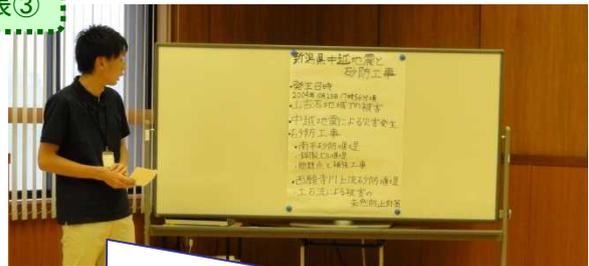
発表②



避難体制の強化などソフト対策の充実も必要。

テーマ: 砂防堰堤について

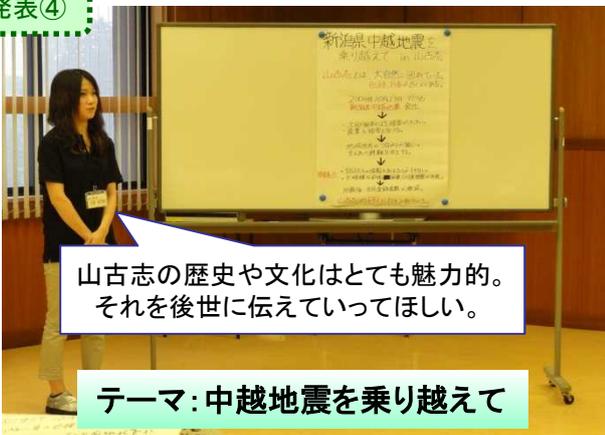
発表③



作業している方の安全を守ることが大切だと思った。

テーマ: 中越地震とその後の工事について

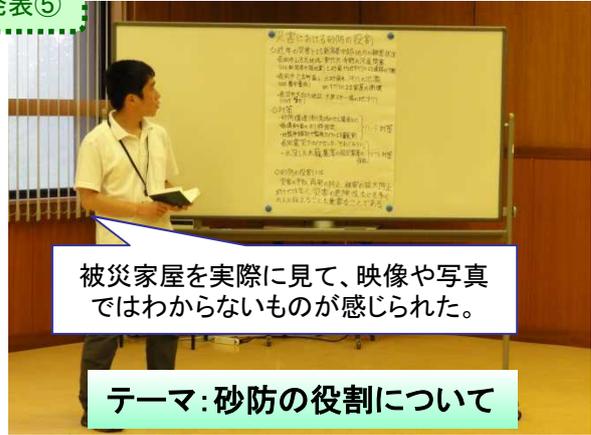
発表④



山古志の歴史や文化はとても魅力的。
それを後世に伝えてほしい。

テーマ: 中越地震を乗り越えて

発表⑤



被災家屋を実際に見て、映像や写真
ではわからないものが感じられた。

テーマ: 砂防の役割について



全員無事にキャンプ砂防を修了しました。



民宿「たなか」さんにて記念撮影

期間中は長岡市山古志の民宿で宿泊をしました。生活の中で身近に砂防を感じられ、生活を通じて砂防の役割を学ぶことが出来たと考えています。

キャンプ砂防にご理解、ご協力いただいた長岡市山古志支所及び長岡震災アーカイブセンターきおくみらい並びに養鯉・闘牛飼育体験学習、工事現場での講師の皆様、民宿たなか様に感謝申し上げます。大変ありがとうございました。